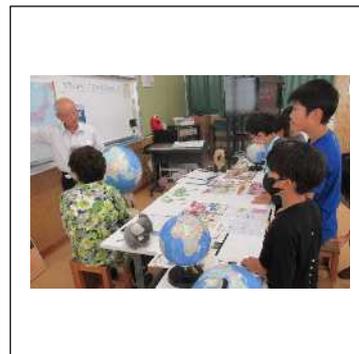


(幸田町)

市町村の 基本情報	学校数	小学校6校、中学校3校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		0人
		地域学校協働活動推進員		1人
	CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小6校	中3校
		地域学校協働本部がカバーしている学校数	小1校	中0校



(活動の実際)

<活動目的>

地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域・家庭・学校で子供たちを見て育てる“共育”により、子供たちの健やかな成長と地域の活性化を共に目指す。

<活動内容>

- ・登下校の見守り活動
- ・校内清掃
⇒児童が清掃を行わない日などに来校して清掃をする。
- ・校外学習時の引率
- ・老人クラブとの交流活動
- ・学校敷地内の草刈り・剪定
- ・夏休みの学習会開催
- ・本の修理
⇒海外で活躍していた地域の方を講師にする講座を新設
- ・プール授業時の監視補助
- ・読み聞かせ活動
- ・田植え等体験授業の講師
- ・学校花壇の苗植え
⇒児童で植えることができないときに地域の方が植えている。



【研修後の塾議】



【花の苗植え】

(◎成果と●課題)

- ◎担任の教職員にアンケートをとったところ、今まで教職員が調整していたことを地域学校協働活動推進員に依頼することで、負担の軽減につながったと回答する職員がほとんどであった。
- ◎学校支援ボランティアがいることで、より児童へ目を向けることができるようになった。
- ◎地域学校協働活動推進員が配置されたことにより、教員の事務負担軽減や地域との連携が推進された。
- 幸田町では地域学校協働推進員の設置が1校にとどまっており、実施校でのメリットを他校にも周知し、より多くの学校で推進していく必要がある。
- 今後の活動を持続可能にしていくために物理的、経済的に担保が必要である。

(関係者の声)

- ・教員とは違う視点で子供と関わってくださるので、子供も学習が進む。(教職員)
- ・子供にとって知的好奇心や身近な人の声が学びにつながる。(教職員)
- ・元気な子供たちと関わることで、ボランティア自身も力をもらうことができる。(ボランティア)